

第161回 芥川賞・直木賞

候補作

2019年7月9日から

第161回 芥川賞・直木賞の候補作が発表されました。

直木賞には窪美澄さん、原田マハさん、柚木麻子さんらが候補になり、6人全員が女性という顔ぶれになりました。芥川賞には社会学者の古市憲寿さんが2度目の候補に入りました。選考会は2019年7月17日に行われます。

芥川賞 候補作

今村 夏子「むらさきのスカートの女」（小説トリッパー春号）※所蔵なし

高山 羽根子「カム・ギャザー・ラウンド・ピープル」（すばる5月号 掲載）

古市 憲寿「百の夜は跳ねて」（新潮6月号 掲載）

古川 真人「ラッコの家」（文学界1月号 掲載）

李 琴峰「五つ数えれば三日月が」（文学界6月号 掲載）

直木賞 候補作

朝倉 かすみ「平場の月」（光文社）

大島 真寿美「渦—妹背山婦女庭訓魂結び」（文芸春秋）

窪 美澄「トリニティ」（新潮社）

澤田 瞳子「落花」（中央公論新社）

原田 マハ「美しき愚かものたちのタブロー」（文芸春秋）

柚木 麻子「マジカルグランマ」（朝日新聞出版）